エコアクション21
環境経営活動レポート

対象期間　2023年6月～2024年5月

北上工機株式会社

本社　〒338-0005　埼玉県さいたま市中央区桜丘2-10-26　TEL:048-854-2141　FAX:048-854-9979

大宮工場　〒331-0054　埼玉県さいたま市西区大字島根687-1　TEL:048-662-7660　FAX:048-662-7661

岩手工場　〒024-0051　岩手県北上市相去町大松沢1-47　TEL:0197-71-2200　FAX:0197-67-6537

2024年10月18日発行

1.登録事業所の概要

（1）事業社名及び代表者名

北上工機　株式会社

代表取締役社長　安部　知幸

（2）所在地　本社

〒338-0005

埼玉県さいたま市中央区桜丘2-10-26

電話　048-854-2141

FAX　048-854-9979

岩手工場

〒024-0051

岩手県北上市相去町大松沢1-47

電話　0197-71-2200

FAX　0197-67-6537

大宮工場

〒331-0054

埼玉県さいたま市西区大字島根687-1

電話　048-622-7660

FAX　048-622-7661

（3）環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理責任者　安部　浩光

担当　今井　成美　　連絡先　電話048-854-2141　FAX048-854-9979

（4）事業の内容

精密機械部品から大型産業機械部品の金属加工を主として

重機械工業、自動車産業、半導体、液晶分野などの金属機械加工

（5）事業規模

項目	2021年度 (2021/6～2022/5)	2022年度 (2022/6～2023/5)	2023年度 (2023/6～2024/5)
売上高（百万円）	811	840	716
従業員数（人）	44	44	42
事業所延床面積（㎡）	5,525	5,525	5,525

（6）法人設立年月日

1974年6月1日

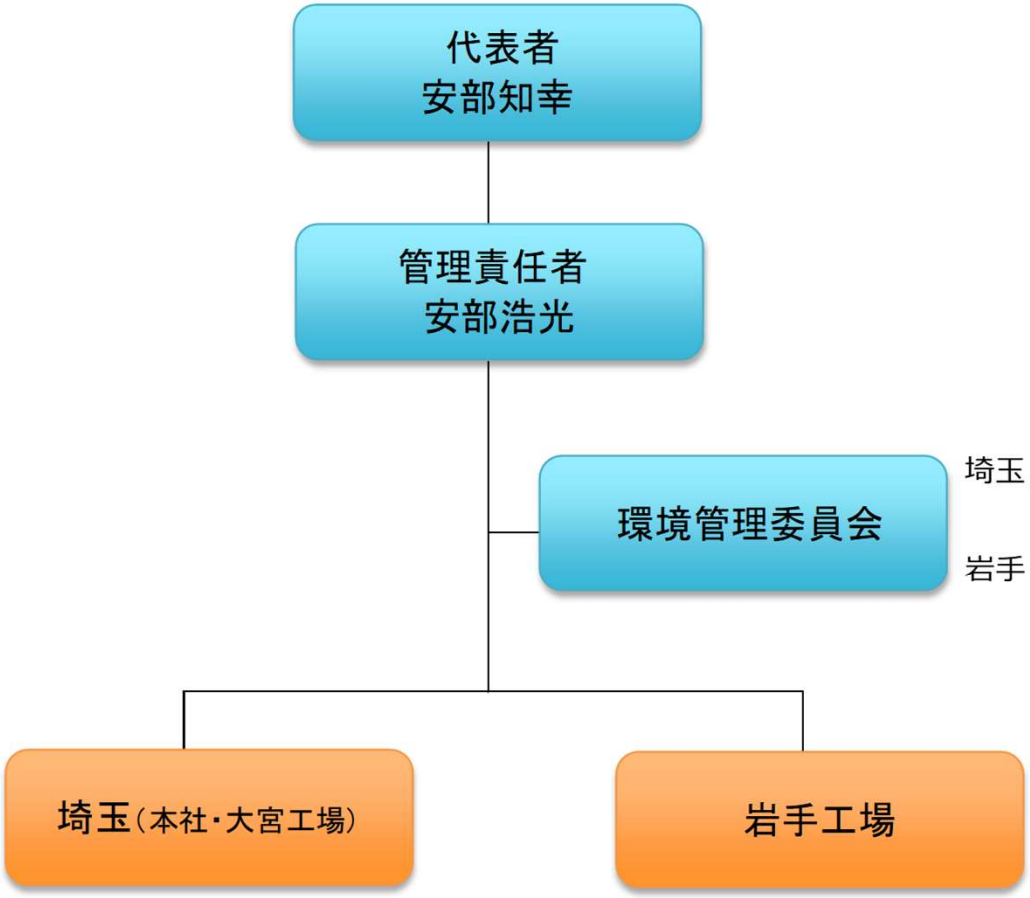
（7）資本金

1000万円

2.対象範囲

組　織　図

作成日　2017年 1月16日
改定日　2023年12月 1日



埼玉　葉梨・牧野・佐藤
酒井・光山・古坂・今井

岩手　菊池(真)・高橋(学)・神・鈴木
菊池(紀)・伊藤・柏葉(早)

3.環境経営方針

基本理念

私たちは、金属部品加工というものづくりの事業を行う上で、
品質の優れた製品を製造し、お客様に提供していく事で、
社会貢献に努めるとともに、環境保全に配慮した行動をとり
全社員で環境負荷の低減を図るための活動に取り組みます。

行動指針

1　エコアクション21の取り組みを通じて、当社の事業活動に伴う環境への影響を確認し、
積極的に環境保全に配慮した行動をとり環境負荷を低減するための継続的な活動を行う。
①二酸化炭素排出量の削減　　電力使用量の削減
化石燃料消費量の削減
②廃棄物排出量の削減
③水使用量の削減
④化学物質の適正管理
⑤不良件数の削減
⑥生産効率向上

2　事業活動に適用される環境法規制、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3　この環境方針を全従業員に周知し環境活動レポートを公開します。

制定日　2015年　4月　1日
改定日　2019年　4月　1日
北上工機　株式会社
代表取締役社長　安部知幸

4.環境経営目標

＊総量目標　　**埼玉・大宮工場**

対象項目	基準年度	単位	環境目標		
	2021年度		2023年度	2024年度	2025年度
電力			-0.7%	-1.0%	-1.1%
	374,688	kWh	372,065	370,941	370,566
ガソリン			-1.0%	-1.5%	-1.7%
	1814.29	L	1,796.15	1,787.08	1,783.45
軽油			-1.0%	-1.5%	-1.7%
	6818.85	L	6,750.66	6,716.57	6,702.93
CO2削減	（総量）		電力・ガソリン・軽油使用量に準拠するので目標総量のみの表記		
	192,660	L	190,926	190,155	189,770
一般廃棄物			-1.0%	-1.5%	-1.7%
	523.4	kg	518.2	515.5	514.5
産業廃棄物			削減方法が現在のところ無いので削減目標はたてず実績管理のみ		
	3,949	kg	―	―	―
節水			-0.7%	-1.0%	-1.1%
	241	㎥	229	238	238
不良件数削減	105	件	65	50	30
生産性向上	生産性向上については、5S活動を日常管理にて実施中				

4.環境経営目標

＊原単位目標　　**岩手工場**

対象項目	基準年度	単位	環境目標		
	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
電力			-2.5%	-5%	-7.5%
	1,121	(kWh)/百万円	1,093	1,065	1,037
ガソリン			-8%	-9%	-9.5%
	5.61	L/百万円	5.16	5.10	5.08
軽油			-8%	-9%	-9.4%
	3.10	L/百万円	2.86	2.83	2.81
灯油			削減目標作成不可の為実績のみ管理		
		L/百万円			
CO2削減	(総量)		電力・ガソリン・軽油使用量に準拠するので目標総量のみの表記		
	302.677	kg/百万円			
一般廃棄物			-1%	-2%	-3%
	2.43	kg/百万円	2.40	2.38	2.36
産業廃棄物			-6.5%	-7.0%	-6.6%
	31	kg/百万円	29.43	29.27	28.96
節水			-5%	-5.%	-5%
	279	㎥	265	265	265
	1.0	㎥/人	1.0	1.0	1.0
不良件数削減	27件	件	19	19	19
生産性向上	生産性向上については、5S活動を日常管理にて実施中				

5.環境経営活動計画

- 使用電力の削減
  - パソコンの節電設定の徹底
  - 室内温度の管理
  - 空調の管理
  - 照明の管理
  - 不良件数削減
- ガソリン・軽油使用量の削減
  - 燃費を把握し、燃費意識の向上
  - エコドライブ講習受講の検討
- 一般廃棄物の排出量の削減
  - 印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し残部が出ないように配慮する。
  - 使用済み用紙、ポスター、カレンダーの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用する。
  - ごみの分別を徹底する。
- 産業廃棄物の削減（岩手工場）
  - 有価物にできないか検討する
  - 社内での材料取りで無駄がないか検討し、良い案があったらお客様に提案する。
- 水使用量の削減
  - 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する
  - 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する
  - 流しや、トイレ等に節水POPの掲示
- 化学物質の適正管理
  - 入出庫量を都度台帳で管理する
  - 新規購入時はSDSを取り寄せる
- 不良件数の削減
  - プロジェクトチームにて削減活動を実施する

6.環境経営活動実績・評価・次年度の取り組み　埼玉（総量評価）

No.	目標項目	単位	目標・実績・評価				
			基準年 2021年度	目標・実績　2023年度（2023年6月～2024年5月）			
			実績	目標	実績	結果	評価及び次年度の対策
1	電気使用量の削減	Kwh %	374.688	372,065	354.012 -4.8%	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
2	ガソリン使用量の削減	L %	1814.29	1,796.15	1774.80 -1.1%	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
3	軽油使用量の削減	L %	6,818.85	6,750.66	5,889.11 -12.7%	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
4	二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	192,600	190,926	180,741	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
5	一般廃棄物排出量の削減	Kg %	523.4	518.2	359.6 -30.6%	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
6	産業廃棄物排出量の削減	Kg %	3,949	削減方法が無いため 削減目標はたてない	3,850	実績管理のみ	適正な排出量。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
7	水使用量の削減	㎥ %	241	239	271 ＋13%	×	仕事量の増加により使用量が増えた。 (次年度の対策) 現状の活動を更に努力する。
8	不良件数の削減	件 %	105件	65件	53（社内のみ） -18.4%	○	目標を達成出来た。 (次年度の対策) 現状の活動を継続する。
9	化学物質の適正管理		・機械油の含有物として含まれる。 ・目標管理はしない。			○	・入出庫量を都度台帳で管理する。 ・無駄を防止する。

6.環境経営活動実績・評価・次年度の取り組み　岩手（原単位評価）

計算根拠：原単位の分母=岩手工場の売上高　379百万円

No.	目標項目	単位	目標・実績・評価				
			基準年 2022年度	目標・実績　2023年度（2023年6月～2024年5月）			
			実績	目標	実績	結果	評価及び次年度の対策
1	電気使用量の削減	kwh/百万円 %	1,121	1,093	1,256	×	総量評価では目標達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動に更なる努力をする。
2	ガソリン使用量の削減	L/百万円 %	5.61	5.16	5.66	×	総量評価では目標達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
3	軽油使用量の削減	L/百万円 %	3.10	2.86	5.02	△	総量評価では目標達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
4	灯油使用量の削減	L	削減目標不可の為、 実績のみ管理		37,512		（次年度の対策） 現状の活動を継続する。
5	二酸化炭素排出量の削減	灯油含む総量 kg-co2/百万円 灯油除く排出量	649 301,543	609 282,938	333,444 728 248,261	×	No.1.2.3に準じる。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
6	一般廃棄物排出量の削減	kg/百万円 %	2.43	2.4	1.74 -27.5%	○	総量、原単位ともに目標を達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
7	産業廃棄物排出量の削減	kg/百万円 %	31.48	29.43	2	○	総量、原単位ともに目標を達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
8	水使用量の削減	㎥ % ㎥/人	279 1.0	265 1.0	231 -12.8% 1.0	○	総量、原単位ともに目標を達成出来た。 （次年度の対策） 現状の活動を継続する。
9	不良件数の削減	件	27件	19	26	○	基準年に比べて減少したが目標には届かなかった。 （次年度の対策） 現状の活動に更なる努力をする。
10	化学物質の適正管理		・機械油の含有物として含まれる。 ・目標管理はしない			○	・入出庫量を都度台帳で管理する。 ・無駄を防止する

7.環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

«法規等の内容»		条項	« 実施状況 »	評価
産業棄物処理法、市廃棄物処理と再生利用条例		**条項**		
一廃	許可業者と契約し、委託しているか	6条の2	契約書あり	○
契約	収集業者と処分業者と個別に契約しているか	12条	契約書あり	○
	委託品目が許可されているか	〃	許可されている	○
ﾏﾆﾌｪｽﾄ	B2票、D票は90日以内に、E票は180日以内に戻っているか	〃	戻ってきている	○
	マニフェストを5年間保管しているか	〃	保管している	○
保管	種類、管理者名、保管量を表示しているか	〃	表示している	○
	飛散、流出、悪臭がないようにしているか	〃	している	○
浄化槽法（対象　大宮工場）		**条項**	**« 実施状況 »**	**評価**
機器の点検を年４回（又は３回）行っているか		10条	行っている	○
清掃、水質検査を年１回行っているか		11条	行っている	○
騒音・振動規制法（対象　本社・大宮工場）		**条項**	**« 実施状況 »**	**評価**
作業場	特定施設の設置・変更届を行っているか	6、8条	行っている	○
	騒音値は規制基準値以内か （例：２種区域　昼55、朝夕50、3種区域　昼65、朝夕60）	5条	基準値内である	○
フロン排出抑制法		**条項**	**« 実施状況 »**	**評価**
業務用エアコン、冷凍機器類を破棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか		19条	回収させた	○
フロンマニフェストを３年間保管しているか		20条の2	委託確認書確認	○
室外機及び室内機の点検		16条	簡易点検実施済み	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局より違反がなく、かつ訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

8.代表者による見直し結果

事項	報告内容(要旨)	代表者の評価
(1)環境経営目標の達成状況、 並びに環境活動計画の実施状況	・電力使用量の削減　埼玉 ○　岩手 × ・ガソリン使用量の削減　○　× ・軽油使用量の削減　○　△ ・二酸化炭素排出の削減　○　× ・一般廃棄物排出量の削減　○　○ ・産業廃棄物排出量の削減　○　○ ・水使用量の削減　×　○ ・化学物質の適正管理　○　○ ・5S活動　○　○ ・不良件数の削減　○　○	目標達成出来た項目は引き続き活動に取り組み、未達成の項目については達成出来なかった原因を検討したうえで来期の活動に期待します。
(2)近隣住民からの苦情、要望の受付 及び処置状況	・特になし ・詳細「外部コミュニケーション記録」	・引き続き地域住民に対して配慮を続けること。
(3)環境法規制等に対する遵守状況、 並びに定期確認結果	・遵守評価の結果は問題なし ・詳細「3.環境関連法規制等のﾁｪｯｸﾘｽﾄ」参照	・引き続き、法遵守を推進のこと。
(4)是正処置及び予防処置の実施状況	・埼玉(1)　岩手(0) ・詳細「10.問題点是正/予防処置票」参照	・「是正予防処置報告書」に基づき活動すること。
(5)その他 ・法規制等の動向 ・改善提案の取り扱い (システム上の) ・取引先からの要求 (クレーム調査)	・現在のところなし	・引き続き最新の動向に気を付けること。

8.代表者による見直し結果

（2）代表者による環境経営方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の要否	指示事項	回答者	回答日	回答内容
1.環境経営方針	否	継続の事	安部知幸	9月1日	
2.環境経営目標	否	継続の事			
3.環境経営活動計画	否	継続の事			
4.全体評価に関して	否	継続の事			
5.実施体制とその他	否	継続の事			

（3）総評

埼玉はほぼ達成出来た。水の使用量については使用する用途のほとんどが、加工時に発生する熱を冷却する為で、製品を製造する上で欠かせないので仕方ないところもあるが、今後も活動がマンネリにならない様に心掛けて活動を続けてほしい。

岩手については評価基準を原単位で設定しているために売上が下がってしまい総量では減っていても、目標の達成にはならない項目があった。

来期はEA21活動も続け、売上も伸ばせるようにしてほしい。

社内設備

本社工場	5面加工機	MCR-A5CⅡ	2500X3000X1000	
	縦型マシニングセンタ	MCV-1060	1060X2140X750	他6台
	横型マシニングセンタ	MCH10000R	1200X3000X1000	他1台
大宮工場	門型マシニングセンタ	MCV-AⅡ2040	2000X4000X1000	他1台
	横型マシニングセンタ	MCH-1000	1200X1600X1000	
岩手工場	5面加工機	MCR-BⅡ	3500X8000X1800	他4台
	門型マシニングセンタ	MCV-AⅡ	2000X4000X1500	他1台
	縦型マシニングセンタ	KCV-1000	1000X3500X700	他5台
	横型マシニングセンタ	HM1250S	1400X1700X1400	他2台
	テーブル型横中ぐり盤	BTD-13FR22	2300X3000X1600	

埼玉　活動

月間会議・チーム別改善活動

不良撲滅委員会・５Ｓ委員会

防災訓練

岩手工場　活動

月間会議・不良撲滅委員会・5S委員会

各部署、グループ単位の打合せ